

ぎかいだよりむらやま



2015
vol. 84
2015年1月15日
発行

写真/
若手でがんばる VOL.3
「あらきそば」 芦野浩平さん

<http://www.city.murayama.lg.jp>

携帯からはコチラ→



対

談

TALK

自営業 西塚久美子

×

議長 海老名幸司



月いちで

ママ会を
しています

◎議長 本日はお越しいただきありがとうございます。議長の海老名です。よろしく願います。

◎西塚 こちらこそよろしく願います。私は秋田県秋田市に生まれ、嫁いで15年になります。

ます。現在は富並で主人と「ひつじや」を営んでいます。

◎議長 ご主人との馴れ初めをお聞かせ下さい。

◎西塚 短大卒業後、就職したのですが海外に興味があり、行くつもりでしたが、行く前にジャンルジャングルに勤めていた時に主人と知り合いました。

嫁いできました。

子育てが一段落した時に義父たちが始めた店を主人と引き継ぎました。今は、子育てをしながら働いています。

◎議長 村山市に嫁いできた印象や悩みなどありましたらお聞かせください。

◎西塚 会社員の家庭に

育ったので農業は初体験でした。また自分が暮らしていたのは町の中だったので農業は初めてでした。嫁いで来た印象は雪が多くて驚きましたが自然が好きだったので特に嫌だとは思ったことはなかったですね。あとは住んでいるのに違和感はない、暮らすのは大変だと思います。

◎議長 村山市が抱えている一番大変なことなのです。自分の子供も都会に住んでいるし、これが市政の大きな課題なのです。若い人が戻って来られる村山市をつくるのが課題なのですが、特効薬がないのが現状です。

◎西塚 同居するといろいろありますが、両親は若い人や孫と住んでいると安心感があるみたいですね。良いところは、みんな協力しあって暮らせる点だと思います。

◎議長 子育てしている時に大変なこと、やって

欲しいことはありませんか。

◎西塚 月いちでママ会というのをしています。その中で出た話では、遊び場所がないのが悩みです。市内の公園の遊具が使用禁止が多くて困るとかの話が出ますね。また雨や雪に関係なく遊べる施設が欲しいですね。

また他で聞いた話なのですが、育児ストレスが溜まって、爆発しそうになって一時保育の申し込みをしたら断られたとか。

◎議長 なぜ断られたのですか。

◎西塚 母親がいるですしよと言われたそうです。なので遠いところから実家の母親に来てもらったとか。義母が仕事をしていると頼みづらかったと言う話など聞きます。以前の元気館が良かったですね。サークルもあつたし。

ママ会は、同じ悩みを抱えている同志ですね。

◎議長 これから子育て

新春 笑顔 SMILING FACE

支援を柱にして行かなければならぬと思います。財政的な問題もありますが、要望に応えられるように努力しなければなりません。



◎司会 ところでスポーツウーマンで剣道を教えていると伺いましたが。

剣道五段。スポーツ少年団で指導のお手伝いをしています。

◎西塚 剣道五段をもっています。西郷のスポーツ最近ではスポ少離れがありますね、社会性が身についているのですが、人数が少なくなると団体戦が組めないとところもあります。寒

い中でも練習に来るといことが子供を強くすると思うのですが。

◎司会 議長も有段者だとお聞きしましたが。

◎議長 小学校5年から高校一年までやっていました。二段をもっています。でもこれは書かないでください。(書いてしまいました。すみません)

◎議長 田舎で子育てする大変さと良い点があればお聞かせください。

◎西塚 周りのお母さんも良い方ばかりです。でも田舎でも、不審者など危険を感じます。一人遊びは出来ない感じですね。どこに行くにも車が必要で。特に女の子は大変です。近所に街路灯もないので心配です。

子育てする方々のサポートをしたいですね。

◎議長 これから西塚さんがやりたいことを教え

ひつじや
西塚久美子さん
にしづか くみこ

秋田県秋田市生まれ。現在、富並で羊を育てジンギスカン料理を提供する「ひつじや」さんに嫁いで15年。ご家族は義父、義母、夫、中学生の娘さん、小学生の息子さん、犬一匹の大家族。

てください。

◎西塚 地域の方のこれから子育てする方々のサポートや、剣道を通して自分ができることからやりたいですね。あと少子化、過疎化で、子育ての部分充実してほしいかな。また空いている施設があれば解放して欲しいですね。

◎議長 秋田では検診チケットのほか、一時保育のチケットもあります。母親が美容院や病院などに行きたいときに大変便利だと思えます。

◎議長 村山市では産婦と乳児の一カ月検診は無料。ファミリーサポートセンターもありますよ。結構いろんな制度がある

のですが知らない方が多いのかな。悩まないで直接問い合わせして相談することも必要ですね。

◎西塚 あともっと人口を増やして欲しいです。若い人が多く居て活気づくると良いですね。

また、凄いい人がいっぱいいるのですが、ほかの町の人が知らないのが残念です。良いところがいっぱいあるのですが、イメージキャラクターとして



てムララは良いですね。

◎議長 村山市をもっと強さに訴えていく方策を考えていく必要があるのかもしれないですね。個別の物は良いものがないというところがあるのですがね。

◎西塚 うちの店のお客様は県外からも来られます。市外のお客様に対する村山市のイメージなどがあれば良いですね。

◎司会 今日はありがとうございました。これからもお仕事や子育てに頑張ってください。

取材日 平成26年12月4日
場所 議長公室

質 問



市長のめざす次の世代に引き継ぐ 魅力ある村山市と第五次村山市総合計画

市政クラブ 秋葉 新一 議員

Q 最優先に取り組むことは何か

A 人口減少対策・少子化対策を最重要課題として施策を強化していく。15歳〜64歳の生産年齢世代をいかに確保・支援していくか。これをメインと考え第五次総合計画に盛り込んでいく。

Q 特徴ある総合的な定住促進策が不可欠。雇用・空き家利活用、住宅政策、婚活、結婚、出産子育て支援、教育等窓口を一本にした新たな「定住促進課」の構築を。また、独自の支援策は。

A 全庁横断的な少子化対策、定住促進にとりくむ（仮称）「人口減少対策本部」を立ちあげるか、係をもうけるかして対応したい。新築住宅への補助、新たな市の子育て支援策として第三子

が生まれた家庭への助成を検討している。

◎産業振興策は

Q 農家の担い手・後継者育成、六次産業へのなお一層の推進を望む。米のトップセールスは

A 六次産業へのとりくみとして、村山産業高校で、バラスイーツを開発、秋バラまつりで販売した。農業、工業、商業科連携した産業教育を展開する高校と共にさらに事業を推進する。雪室で貯蔵した「つや



夜のイベントや通年観光が望まれる東沢バラ公園

姫」はブランド化し、「はえぬき」もおいしい割に値段が安価で評判がいい。業務用米等への拡販をすべきと思う。

Q 村山の「ものづくり」に対するさらなる支援は

A 技術力を持っている中小企業が特徴。新たな視点で発掘していけば小さな企業でも大きなビジネスチャンスになると思う。さらに支援していく。

◎観光施策

Q 「そば」「ひっぱりうどん」など村山の食文化の売り出しを。東沢バラ公園夜のイベント、通年観光策は。来年第10回を迎える「全国各流居合道さくらんぼ大会」を市民全体のおもてなしで開催を。また徳内記念館などタイアップすべき。クアハウス基点を拠点に「クアオルト事業」の推進と、甕岳、葉山をセットにしたトレッキングや登山の開催は。

A 来年のポストDCに向け、特徴的なもの

を検討していく。バラ公園の夜のイベント、徳内記念館での「刃剣展示会」、葉山、甕岳への登山など、いろいろ参考にさせていただく。いまある資源を使い集客の拡大をめざす。

◎防災対策

Q 土砂災害対策の強化、訓練を防災行政無線運用開始と合わせ、実施すべき。

A 予備消防団の設置など消防本部と連携し、早い時間に訓練を実施したい。

◎健康・福祉行政

Q 地域包括ケアシステム構築の中で、重要視されるのが、認知症対策だ。対応は。

A 「徘徊高齢者支援事業」を警察、地域包括支援センターなど協力し実施予定だ。

Q ガン検診の受診率アップと対象年齢の拡大をはかるべき。

A 市独自の若年検診のさらなる拡充を検討する。ピロリ菌検査の導入も考える。

表

代



高速道路開通で 周辺の整備の進め方はどうする

青風会

佐藤敏彦議員

◎地方創生と地方 分権政策の推進 及び実現の方策 について

Q 地方創生事業は、実質どのように進められると思うか、また、本市としてはどのような事業を求め、望んでいるのか。地方分権とのかかわりは、どのようになると思われるか。本市の対応は。

A 地方創生事業は、まだ国の方針が出てないので、具体的な内容は分からない。地方分権との関わりや整合性については、両立できるものと考えている。

◎都市計画の推進 について

Q 村山駅西開発について、現在の進捗状況と開発の課題は何か。

東北中央自動車道開通に向けた、周辺の開発計画と方針は。大沢川改修に関連した周辺の開発整備はどう考えているのか。

A 村山駅西開発（国道13号西側）については、約5ヘクタールの用地の農振除外の手続きが、平成26年5月に済んでおり、開発可能となった。ただ、マックスバリュアの移転計画は止まっている。小規模開発は法的に可能だが、面的な整備を進める方針なので、事前に情報をキャッチして対応する。今のところ市では、別の数社にも話をしている段階である。完成は、なるべく早くしたいと考えている。

東北中央自動車道と周辺の関連整備については、まずは、現在の道路と結びたいと思っている。そしてインター周辺には、

休憩施設をつくりたいと考えており、内部でその検討をはじめた。

大沢川改修と併せた開発整備は今のところ考えていない。やるとすれば駅西開発整備後と考えている。

◎人口減少対策について

Q 本市の将来の推定人口及び目標人口の考え方は。空き家対策関連条例制定に伴う具体的な取り組み、事業はどう考えているか。楯岡以外の定住対策はどのように考えているのか。

A 人口については、国の推計で、平成36年に2万2千360人となっている。本市では、希望的な目標人口ではなく、具体的な箇所を想定して住宅開発の計画をつくっている。700人増の考え方は

努力目標と考えている。

空家対策については、「空家バンク」を設置して対応したいと検討中である。人口減少に対しては、少子化対策本部などを作って対応したいと検討する。

◎環境行政について

Q 再生可能エネルギーなどの導入と省エネの推進について。森林資源の活用等による産業の振興や地域活性化につながる具体的な取り組みは。家庭、事業所、公共施設

への再生エネルギーと省エネの導入推進は。

A 森林資源の活用、産業振興や地域活性化は、大変むずかしい課題だと捉えている。再生エネルギーなどの導入については、補助制度を活用しながら更なる取り組みを進める。

◎農業振興について

Q 農業で生活できる農家の育成の方向は。

A 認定農家の制度等を活用して、育成に努める。



急ピッチで工事が進む高速道路

ここが聞きたい 一般質問

Q & A

本定例会の一般質問は
12月3日・4日に5人の議員が行いました。
質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

※一般質問のQ & Aは議員の原稿をそのまま掲載しています。



旧浴場はメモリアル的存在

長南 誠 議員

Q クアハウス基点は三十数年経った今も変わらぬ繁栄は、村山市の誇れる自慢の施設である。北側民間所有地をはじめ、河島山の緑化対策も観光地整備として重要である。クアハウスを中心とした周囲の整備開発を伺う。

A 従業員の駐車場が不足しており、所有者と話したい。河島山の松枯れは周期とみる。防虫植林など実施しているが効きめがない。今後検討する。

Q 新浴場が完成し旧浴場の活用方法と本館宿泊棟の改修計画を伺う。

A 利用者は落ち着いていない。黒字転換していきかないといけない。経営者の考えで運営しないと市民に迷惑かかる。旧浴場はメモリアル的存在残したい希望もある。本館改修は現代に合わせて数部屋の改修も良いと思

う。合宿棟は損益分岐点を考えないと将来に禍根を残す。合宿が増えれば投資する。

Q 健康づくり拠点施設としての施設づくりを行い、市民の健康づくりを強化し、医療費削減を図ってはどうか。

A 独自で6事業、市とタイアップ4事業実施している。SPA会員104名。利用者は多い。今後県で推奨しているロコモティブシンドロームのメニューを拡大し、多く利用されるようにしたい。



改修が望まれる旧浴室



職員の意識改革で地方創生

井澤秋雄 議員

Q 平成27年度から5年間で実施する人口減少対策「村山版の総合戦略」を考えるべきである。

村山市の特性を生かす斬新なアイデアを国に提言すべきである。それには職員の意識改革、意欲能力が欠かせない。職員のモチベーションを助長

するために政策立案型の研修、問題解決の手法など、新たな研修計画を作るべきである。市長の認識と考え方を聞きたい。

A 職員の意識改革は必要であり、市民からも言われている。時代にあった新たな研修も検討したい。

Q 村山市は、人口減少に対応した定住促進

楯岡高校跡地活用を含む中心市街地の再生、高速道開通に伴う都市づくりなど大きな課題があり、将来の展望が左右される重要なときである。



総合計画で期待される楯岡高校跡地活用

完成が急がれる村山市の第5次総合計画は、市民が希望を持つことができ、市民の理解と信頼を得ることができ、計画をつくり、次の世代に誇れる村山市を目指すべきではないか。

A 今、総合計画審議会

キヤッチフレーズとして「ほどよい田舎」という声が出ている。斬新なアイデアと生かしている。この考えも生かしていきたい。住んで不自由を感じない、落ち着いたまちを目指していきたい。



村山市のブランドを作れ

布川淳一 議員

Q 村山市は宣伝下手、宣伝不足と感じている。どうしたら村山市の知名度を上げることが出来るのか。

個別の産品のブランド化ではなく、村山市全体のブランド戦略が必要だ。そのためには、村山市の持つイメージを確立し、コンセプトを明確にする事だと思ふ。そしてそれを言葉で表したりデザインなどで表すようにする事が必要だ。

統一したイメージを確立し「楽しい街だな、住んでみたい、素敵な街だな、行ってみたい」と外部の人々に知らせる事は大変重要なことだ。大胆なブランド化に取り組み、村山市の情報を発信、市民に誇りを持たせ企業誘致や定住促進、村山市の生産物に新たな付加価値をつける効果も期待できる。

A 宣伝不足は感じる。物に対する考え方が足りない。工夫が足りない。市民にも才能がある人がいるが活用をしていない。あるものを育てていかなければならない。

Q 発信能力が無ければ、宝の持ち腐れになる。情報戦略室を設けて総合



全国ご当地うどんサミットに参加したひっぱりうどん研究所

的な情報発信戦略を構築すべき。

A 情報発信は大切だと思ふが中身が大事だ。体系つけて発信していく。

Q 街道沿いや市内に村山市の看板が少ない。

A ああ言う看板は好きじゃない。



米価下落どう救済するのか

川田 律子 議員

Q この度の米価下落は本市にとっても、生産者だけでなく広範囲に他産業への影響も心配される。昨年と合わせると5千円を超える下落。農水省試算の生産費1俵当り1万6千236円、種もみ、肥料、燃料費などの物材費9千666円も下まわる概算金となっている。今年度からの直接支払い交付金の半減、米価下落補填給付金の事実上の廃止で農家は、二重、三重の打撃を受けている。市の対応、国、県の救済策は、市として基幹産業の米対策にどう向きあうのか。

A 米価下落は市も大きな打撃を受け対策が必要と思っている。国・県と連動し、ならし対策（9割補填）の交付条件の緩和に合わせ、認定農業者の拡大による加入の促進。500万円までの米価下落緊急資金の無利子の貸付け。飼料米などへの生産調整を強化し、減額の少ないつや姫の生産拡大やはえぬぎの業務用米への販売促進に力を入れていく。生産費のコスト削減として農地集積を図っていく。



村山市の基幹産業である水田農業対策の確立を

Q 高齢者の暮らしは、年金引き下げ、医療

費引き上げ、円安による物価高、消費税増税で疲弊している。一世帯3千円の福祉灯油代の拡充を。福祉灯油は、国でやる必要がある。毎年補正予算でやるのではなく体系的にやるべきと思う。



市は環境保全協定の当事者としての責任を果たせ

中里 芳之 議員

Q 10月16日アシスト処分場に関する情報提供を受けて、10月22日県と市が抜き打ち調査を行い、未処理水が届出されていない放流口から放流されているのを確認。その後も自主検査データの隠蔽・捏造が明らかになった。

①市は環境保全協定にのっとり、操業の一時停止を求めべきではないか。②協定に違反し、市民を欺くアシストの行為をどう認識しているか。③住民への報告が1カ月も遅れたのはなぜか。④未処理水の垂れ流しなど、いつから行われてきたのか。

A ①市単独でなく、県と協議しながら進めていく。②市民を欺くこともない行為だ。③情報提供の裏づけをとる必要があったので遅れた。④現在調査中。

Q ①アシストの行為は環境保全協定違反との認識はあるか。裏からの未処理水放流の事実は10月22日の時点で明らか。まずこの事実きちんとか対応すべきだったのではないか。②放流停止が11月26日。得体の知れない水を1カ月間流し続ける

のを許してきた。いったい誰が、この水の安全を確認したのか。③抜き打ちの検査の実施や即日覆土の厳格化など、環境保全協定を抜本的に見直し締結するべきではないか。

A ①②（答弁なし）③検討する。



アシスト処分場～無届けの放流口から放流される未処理水

議会報告会開催!

議会基本条例で定められた第6回議会報告会が開催されました。
今回は大久保、富本、楯岡、西郷の4地域で各市民センターに2班に分かれ開催されました。
報告会の内容は25年度一般会計決算、特別会計決算、26年度補正予算の概要を報告しました。
参加された市民の皆様から活発な質問や意見が多く出されました。
出された市民の声は執行部、議会に報告されました。

市民からの意見・要望と対応

△大久保地域▽

- 駅西開発は、大沢川改修も含めて同時に進めるべきである。
- 子育て少子化対策のため入園前の子の保育も重要である。
- 自治公民館の下水道料金は水道料と同様減免措置を検討すべきである。
- 道路用地提供時の約束(除雪等)守ってほしい。
- 大久保上原地区消費が水不足で機能していない。

【以上執行部に報告】



大久保地域市民センター

△富本地域▽

● 空き家条例について説

明あつたが、空き家の活用も考えるべきである。

- 保育園、認定こども園は村山市に合う方法が考えられているか。
- オリンピックに向けたアスリート育成が必要とあるが、具体的にどう進んでいるか。
- 豪雨被害におけるハザードマップの考え方など具体的にしてほしい。

【以上執行部に報告】

△楯岡地域▽

- 6次化の進捗状況と、具体的な取り組みは何か。
- 市内企業の後継者育成の意味は何か。
- 税は収納率の向上だけ求めて良いのか。低所得者に対する配慮を願う。
- 安全協会への配慮を願う。村山市が率先して免許の返納を勧奨していることは評価する。安全協会加入率が3割減っている。多く加入するようお願いする。
- 楯中にプールを要望。
- 道の駅産直が不十分。



西郷地域市民センター

J A、村山産業高、農家との連携の充実を望む。

【以上執行部に報告】

- 産業誘致、育成に関する質問が少ない。
- 会派の視察はなぜ遠方に行く必要があるのか。
- 議員定数と報酬削減はどうなっているか。
- 議会報告会が議会のHPに載っていない。

【以上議会に周知】

△西郷地域▽

- 民生委員のなり手がいない。民生委員法で報酬を受け取れない。活動費は個人に支給すべきである。

- 市税の滞納状況はどうなっているのか。
- 空き家条例の具体的な内容について。
- ものづくりの施策展開を教育の方へ持つていくべきでないか。現業部門に就く職業教育を希望する。

- 大型スーパーの出店はどうか。
- 飼料用の米を食用として横流しをした場合、中央官庁での指導徹底を促してほしい。

- 長湍街道の交差点見通しが悪いので改善してほしい。夜間は暗いので、街路灯の設置を要望する。
- 楯岡高校跡地はどのようなになるのか。
- 人口を増やす方策はあるのか。中高一貫校への流出を懸念する。

【以上執行部に報告】

次回の議会報告会は4月末頃に予定しております。
多くの市民の皆様参加をお待ちしております。

12月定例会

審議・議決結果報告

11月28日から12月15日の会期中で、12月定例会が開会され、議員発議案1件、一般会計補正予算の専決処分の承認1件、一般会計及び特別会計補正予算7件、条例4件が原案のとおり全会一致で可決されました。

その結果、一般会計は歳入歳出それぞれ8千964万8千円を追加し、総額124億5千612万7千円となりました。

各会計補正額

(単位：千円)

会計	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	12,366,479	89,648	12,456,127
特別会計			
・国民健康保険事業	2,978,505	2,811	2,981,316
・公共下水道事業	1,122,448	11,317	1,133,765
・農業集落排水事業	101,605	720	102,325
・土地区画整備事業	20,255	67	20,322
・介護保険事業	2,476,321	△897	2,475,424
水道事業会計			
・事業収益(収入)	676,657	35	676,692
・事業費用(支出)	661,453	359	661,812
・資本的支出(支出)	292,672	1,407	294,079

議員発議

議会改革検討特別委員会の設置について(議会改革を検討するため委員会条例第6条の規定に基づき設置)

条例

・村山市歯と口腔の健康づくり推進条例(国の法律に基づき、市民の生涯にわたる歯と口腔の健康保持及び増進を図るための制定)

議会改革検討特別委員会を設置 議会改革に向けてスタート

11月28日、12月定例会初日、議員発議で「議会改革特別委員会設置条例」を、全会一致で可決しました。委員会は、議会基本条例の理念に基づき、より開かれた議会、活性化した議会を目指すもので、委員長に、須藤和幸議員、副委員長に茨木久彌議員を選出。委員は全議員があたり、参考人(市民の代表としてまちづくり協議会、商工会、青年会議所、JANAなどの意見聴取、有識者による講義を受け、その結果は3月定例会に報告し、決定する予定です。

これまでの経過

議会改革については、「市民の声」直通便や、議会報告会などで、各種多くの意見、要望が出されています。

これに対して、議会では、平成26年1月から、会派代表者会議を6回、10月からは議会運営委員会を4回と、計10回の検討を重ねてきました。

その結果、10月に特別委員会設置の方針を決定し、有識者の講義及び参考人制度も採り入れ、広く市民の声を聞きながら進めることとしました。

今後のスケジュール(予定)

- ① 議員の定数や報酬
② 常任委員会の再編成及び定数
- ③ 一般質問における一問一答方式の導入
- ④ 議会報告会のあり方及び内容
- ⑤ 災害時の議員の行動指針

針

⑥ その他必要事項

1/8 第3回会議
参考人の意見聴取、有識者による講義

2/3 第6回会議
議員間討議

3/9 第7回会議
検討結果のまとめの素案検討

3月定例会初日
本会議終了後、検討特別委員会を開催し、委員長の経過報告と質疑討論、表決

3月上旬
特別委員長より議長へ「検討結果まとめ」を提出

議員定数及び報酬等 についての講演会

日時 1月18日(日)
午後1時
場所 農村環境改善センター
講師 明治大学講師 廣瀬和彦氏
市民の皆さん、ぜひご聴講ください

百問は一見にしかず!!

よりよい行政のための 視察 レポート

災害時の行動指針は

議会運営委員会は、11月5日から6日にかけて埼玉県春日部市、東京都台東区を訪問しました。

春日部市では、平成25年2月に施行された災害時の議員の行動指針について視察しました。

行動指針設置の目的は、東日本大震災での教訓を生かすため、震度5以上の地震が発生した場合の議員の行動をマニュアル化したもので、これまで

3回の防災訓練と図上訓練を実施しています。

台東区では、災害時における議会の対応について視察したほか、台東区1丁目複合施設を視察しました。

この施設は、地下1階にあり防災関係備蓄倉庫として活用されているもので、倉庫には避難想定者654名分の食料品、医薬品、資器材などが配備されておりました。

議会運営委員会



台東区議場にもヘルメット常備

議会報研修

平成26年11月7日、寒河江市で行われた山形県市議会議長会議会報研修会に7名の委員で参加しました。

市民とつながる議会報づくりと題し、講師は、東北芸術工科大学文学部科の藤原千尋氏、コーディネーターとして㈱アサヒ印刷の岩見信弘氏の両氏でした。藤原千尋氏は、子育て情報誌「マーマイド」やタウン誌作りを手がけており、この度は議会報について一方通行ではなく、市民と議会をつなぐかけはしとなる紙面づくりを、とのことでした。

また若い人達に読んでもらえるよう13市の議会報を芸工大生8名の若者目線で自治体毎の評価を行ったとのことでした。

QRコードは村山市だけ実施で評価されました。写真の目線が非常に良いなどの評価がありました。研修の成果は、これからの議会報に反映していきます。

会派視察報告

「青風会」

田舎ぐらし

10月15日から17日まで東京都の認定法人ふるさと支援センター、長野県川上村及び諏訪市にて、行政視察を行いました。

ふるさと支援センターでは、年々増加している田舎ぐらしの対応状況と各自自治体の取り組みと進捗状況について説明を受けました。

長野県川上村では、「レタス」の生産で、年間一戸当たり2千500万円の農業収入の実態を視察。村の若者の90%が農業に従事している姿に驚き、日本の農業もやる気次第で大規模化も可能であることを実感してきました。

諏訪市では、市民に諸証明のコンビニ発行で、利便性を図るとともに、さらにオリジナル住基カードの発行で、行政の効率化とサービスの向上に努めているとの説明を受けてきました。

管内視察



県の太陽光パネル発電の様子(楯岡笛田)

11月19日、水道祭、下水道祭終了後、水道課、環境課の現地視察を行いました。

ました。

◎太陽光発電関係は3ヶ所、笛田の県営太陽光発電所。H25年完成した本飯田の民間会社の発電所いずれも順調に稼働中でした。計画中の袖崎赤石地区内ナブテスコ株式会社テストコース跡地への建設は業務委託、やまがたグリーンパワー株式会社1.8メガで市内最大。積雪地帯対応で、27年の完成の日から20年間運転を予定しています。

産業建設常任委員会

定しています。

◎老朽配水管を耐需管に更新する事業、市道中央南線排水布設替工事

◎旧袖崎中跡地での袖崎地区排水管整備工事。

◎土生田地区内、袖崎地区農業集落排水管路を移設する東北中央自動車道建設工事関連移転事業

◎臭い対策を迫られる村山コンポストリサイクルセンター土生田事業所を視察しました。

市民の声



高橋 春 實 さん (戸沢)

毎年退職を機に、実家のある村山市に戻ってきて2年が過ぎようとしています。これまで地域の方からいろいろなお誘いを受け、現在、郷土の歴史や文化について調査研究している「戸沢郷土史研究会」や子供達への本の読み聞かせと推薦図書を紹介を行っている「戸沢地域市民センター・おしろやま図書室ボランティア」、豊か

で綺麗な環境づくりを目指している「戸沢地域ボランティア団体・はなほ〜ら」等の活動に参加して、在職中とは全く異なった日々を送っています。

今、日本各地で地域の活性化が叫ばれていますが、それを成し遂げるためには、その地域がもつ自然環境や歴史・文化等の資源の活用が重要であるといわれています。

私達が行っている活動がこれからの村山市にとってどのように役立つかはわかりませんが、常に一步前進の気持ちで取り組んでいます。



花壇の整備 (戸沢地域)



絵本の読み聞かせ (戸沢地域市民センター)

第5回

議会だよりクイズ

Q1：毎年11月1日は、村山市としてスタートした日となっています。平成26年11月1日に盛大な記念式典が行われましたが、何周年だったでしょう。

- ① 50周年 ② 60周年 ③ 70周年

Q2：平成26年12月に衆議院議員選挙が行われました。全国的にも投票率の低下となっていますが、村山市の投票率は何%だったでしょう。

- ① 50.5% ② 55.5% ③ 60.5%

応募方法

- クイズの答え、住所・氏名、年齢をお書きのうえ、郵便はがきでご応募ください。
- 正解者の中から抽選で3名の方に粗品を差し上げます。
- 締め切り 平成27年1月31日(当日消印有効)
 <あて先>〒995-8666 村山市中央1-3-6
 村山市議会事務局



<表紙写真>

大久保「あらきそば四代目」
 芦野浩平さん (30才)
 伝統の味を自ら守ると熱く語ってくれました。



- | | | | | | | |
|----------|-----------|----------|---------|----------|----------|----------|
| 委員 井澤 秋雄 | 副委員 佐藤 敏彦 | 委員 布川 淳一 | 委員 長南 誠 | 委員 秋葉 新一 | 委員 川田 律子 | 委員 大山 正弘 |
|----------|-----------|----------|---------|----------|----------|----------|

議会だより編集委員会

議会だより編集委員会に11月より2名の新メンバーが加わり新体制でスタートしました。
 市民と議会をつなぐかけはしとして議会報を皆さんに届け、読んでもらえるような紙面づくりを心がけていきます。

編集後記